



関わらない・関わらせない 粗悪学術誌 ハゲタカジャーナル

■粗悪学術誌(ハゲタカジャーナル)とは:

査読誌を標榜しながら適切な査読を行わず、論文掲載料(APC)による収益のみを目的としている、**質の悪い学術誌**。

手口は巧妙化しており、粗悪学術誌を見分ける明確な方法や基準はなく、判断が困難な状況です。

だからこそ、論文を投稿するときや査読を依頼された際に、“**不審な点はないか?**”確認することが大切です。

■何が問題か:

適切な査読が行われず、質の保証がされない論文が出回るため、**著者や著者の所属機関の評価、学術的信用が失われるリスク**があります。

また、粗悪学術誌の増加は、査読論文や学術雑誌全体への信用の低下という大きな問題を引き起こしかねません。

■偽ジャーナルにも注意:

既存ジャーナルの名称やISSNを騙る「**偽ジャーナル**」のサイトが発見されています。見た目やURLも既存ジャーナルとそっくりなものがあり、APCを詐取されないよう注意が必要です。

本学紀要「札幌医学雑誌(The Sapporo Medical Journal)」も偽のサイトを作られる被害にあっています。

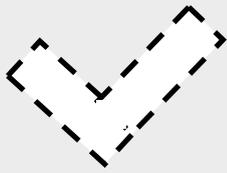
■関わらない、関わらせないために:

粗悪学術誌に自身が投稿しない、査読を引き受けないほか、指導者として学生が粗悪学術誌に投稿しないようにすることも重要です。

すぐに出版できるという、一見魅力的に思える側面に騙されて誤った判断をしまい、研究者としてのキャリアを危険にさらすことのないよう、**関わらない・関わらせない**を徹底しましょう。

CHECK POINT 1

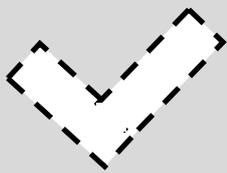
査読の期間は適切か？ 極端に短くないか？



通常、査読には一定の時間・日数を要します。分野により多少の差はあるものの、数十週間かかることが大半です。同じ分野の他ジャーナルと比べて極端に査読から出版までの期間が短い場合、適切な査読がされない＝粗悪学術誌の可能性ががあります。

CHECK POINT 2

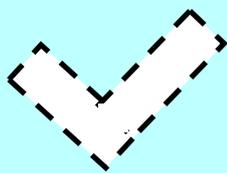
公式サイトには投稿に必要な情報が掲載されているか？



公式サイトには、APCが明記されていますか？APCだけでなく、投稿規程などが確認できない場合は注意が必要です。また、記載されているeditorは著名な研究者か、公式サイト以外でその雑誌のeditorであることが明記されているか、複数のサイトで検証する必要があります。

CHECK POINT 3

信頼性の高いデータベースに収録されているか？



完全に見抜ける方法ではないため留意が必要ですが、投稿予定の雑誌が信頼性の高いデータベースに収録されていれば、一定の判断材料になります。

- 信頼性の高いデータベース
 - ・DOAJ(Directory of Open Access Journals)
 - ・Web of Science: Master Journal list など

先に記述したとおり、完全に粗悪学術誌かどうかを見分ける方法はありません。上記のチェックポイントを確認しながら、少しでも不審な点があれば投稿をやめる、周りに相談するなど対策をとりましょう。

また、下記サイトで確認することも有効です。

- Think. Check. Submit【ジャーナル選択の支援サイト】
url <https://thinkchecksubmit.org/translations/japanese/>
- SciRev【投稿～査読～出版までの日数の共有サイト】
url <https://scirev.org/>

判断に困った場合は、附属総合情報センターまでご相談ください！

- E-mail library@sapmed.ac.jp
- TEL 011-688-9545(直通) / 内線24160, 24230
- Website <https://hamanasu.sapmed.ac.jp/library/>

